

トピックス topics

第16号

H20.3

- p1 ◆農村への移住希望者と地元リーダーが懇談
- p2 ◆遊休農地対策などの経験を交流
- p3 ◆京丹後市が2年連続で金賞に輝く  
— 第17回京都府農業委員会  
広報コンクール —
- p3 ◆集落営農組織の経営力強化をめざそう
- p4 ◆会議員の異動、常任会議だより、ほか

# 京 農 業 会 議

## 都 だ よ り



発行 京都府農業会議  
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内  
: 075 (441) 3660 e-mail : k\_noukai@agr-k.or.jp



ナビゲーターから田舎ぐらしの可能性を熱心に聴く参加者

都市側からは、京都市を中心に大阪、名古屋、東京などから43人、農村側からは府内6市町村のナビゲーター10人が参加。森林ジャーナリストの田中淳夫さんの基調講演のあと、ナビゲーターから受け入れ地域の紹介が行われ、続いて定住希望地域のテーブル毎に分かれて田舎暮らしの可能性について懇談を行いました。

同センターには、一昨年の開設以来、田舎ぐらし相談が毎年250件ほど寄せられています。しかし、地元の受け入れ先の情報や現地の相談窓口となる人が分から

ない等の理由から、実際に農村移住まで進むケースは少ないのが実情です。そこで、お互いが顔を合わせて交流することで、相談者の候補地探しのきっかけにしようという企画したものです。

参加者の約8割が、「今後の田舎暮らしを考える際に参考になった」という声を寄せています。また、ナビゲーターからの報告(2月末)によると、京丹後市弥栄町、綾部市志賀郷、南丹市美山町で、交流会の参加者が現地を訪問する動きが始まっています。

## 農村への移住希望者と地元リーダーが懇談

さっそく現地訪問の動きも

— 京の田舎ぐらし・ふるさとセンター —

「京の田舎ぐらし・ふるさとセンター」(府農業会議に設置)は、2月17日、農村への「インターン」をめざす都市の人と農村側の受け入れ窓口となるリーダー(「京の田舎ぐらしナビゲーター」)が交流する「京の田舎ぐらし講座・交流会」を、京都駅前メルパルク京都で開きました。

# 遊休農地対策などの経験を交流

## — 府内4ブロックで農業委員研修・交流会 —

京都府農業会議は、12月20日から2月18日にかけて、府内4カ所で「ブロック別農業委員研修・交流会」を開催し、農業委員を中心に約200名が参加しました。

各会場とも、府外から講師を招いて先進的な活動の報告を受けるとともに、分散会での活動交流を通じて研鑽を深めました。その内容は以下のとおりです。

ブロック名 対象農業委員会	開催日 会場名 (開催地)	参加人数 (うち農業委員)	内 容
山城北ブロック 宇治市、城陽市、 久御山町、八幡市、 京田辺市、井手町、 宇治田原町	12月20日(木) 久御山町役場コン ベンションホール (久御山町)	51人 〔うち農業委員〕 31人	挨拶(主催者、来賓) 吉田常任議員 八木山城広域振興局農林商工部長 講演 田中章司氏(大津市農業委員会 食農プロジェクトチーム) 「農業委員による食と農のプロジェ クト活動について」 分散会
中丹・丹後ブロック 綾部市、舞鶴市、 福知山市、宮津市、 与謝野町、伊根町、 京丹後市	1月17日(木) 大江町総合会館 (福知山市)	58人 〔うち農業委員〕 40人	挨拶(主催者、来賓) 菊田常任議員 竹内中丹広域振興局長 講演 西田幸男氏(丹波市農業委員会会長) 「農業振興と農地保全をリードする 農業委員会」 分散会
山城南ブロック 木津川市、笠置町、 和束町、精華町、 南山城村	1月30日(水) アスピアやましろ (木津川市)	42人 〔うち農業委員〕 25人	挨拶(主催者、来賓) 但馬常任議員 岸本山城広域振興局副局長 講演 福田武二郎氏 (斑鳩町農業委員会会長) 「遊休農地の発生防止・解消対策を リードする農業委員会」 分散会
京都・南丹ブロック 京都市、向日市、 長岡京市、大山崎町、 亀岡市、南丹市、 京丹波町	2月15日(金) ルビノ京都堀川 (京都市)	52人 〔うち農業委員〕 34人	挨拶(主催者、来賓) 溝川副会長 中村農村振興課参事 講演 白石好孝氏 (練馬区農業体験農園園主会会長) 「市民参加による都市農業の拠点づ くり」 分散会

※各ブロックの分散会では、全委員会が活動発表を行いました。

# 京丹後市が2年連続で**金賞**(知事賞)に輝く

## — 第17回京都府農業委員会広報コンクール —

京都府農業会議は、平成19年に発行された「農業委員会だより」を対象に「第17回京都府農業委員会広報コンクール」を実施しました。コンクールには、府内24委員会が参加。専門家を交えて行った審査の結果、次のとおり受賞委員会が決められました。

### ～受賞委員会～

#### 金賞 (京都府知事賞)

京丹後市農業委員会『京丹後市農業委員会だより』

#### 銀賞 (全国農業新聞賞)

南丹市農業委員会『南丹市農業委員会だより なんとん』

#### 銅賞 (京都府農業会議会長賞)

南山城村農業委員会『農業委員会だより みなみやましろ』

#### 奨励賞 (京都府農業会議会長奨励賞)

宇治田原町農業委員会『うじたわら農委だより』

舞鶴市農業委員会 『まいづる農業委員会だより』

宮津市農業委員会 『農業委員会だより みやづ』



#### ※参加委員会

京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、宇治田原町、木津川市、笠置町、精華町、南山城村、亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、舞鶴市、福知山市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市

以上24委員会

注：平成19年(1～12月)に発行された「農業委員会広報」を対象として実施



### 集落営農組織の

### 経営力強化をめざそう

#### — 京都府地域農場づくり推進大会 —

農業会議は、京都府、J A京都中央会、京都府担い手育成総合支援協議会との共催で、3月4日、亀岡市のガレリアかめおかで「京都府地域農場づくり推進大会」を開きました。

「集落営農組織の経営力強化に向けた複合化・多角化」をテーマにした今年の大会には、集落営農に取り組む地域のリーダーや関係機関の職員ら250名が参加。参加者には、農業委員さんの顔ぶれも目立ちました。

大会では、農事組合法人あかつきファーム(いまいけ)今在家(鳥根県斐川町)の三代組合長による基調講演に続いて、本会議常任会議員で龍谷大学の稲本志良教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行われました。

参加者からの発言が相次ぐなど、盛り上がったパネルディスカッションは、「集落営農組織の事業の複合化・多角化には、収益アップをめざす生産技術の向上や販売努力など、外に方向がなかった戦略」だけでなく、地域の人がやりがいを感じ、組織への帰属意識や満足感を得るための「内に向かった戦略」も重要である」と締めくくられました。

## 会議員等の異動

〈1号会議員〉

〔木津川市〕

新任 河村 穆 (2月26日)

退任 公文代憲篤 (2月26日)

## 常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

### 第314回常任会議 (12月19日)

報告

①平成20年産米の需給調整対策について

②農のあるライフスタイル実現プロジェクトについて

### 第315回常任会議 (1月23日)

協議

①平成20年度京都府農業会議事業計画 (素案骨子) について

報告

①国の生産調整の進め方について

### 第316回常任会議 (2月27日)

協議

①第97回総会への提出議案について

②第20回農業委員統一選挙への対応に

ついて  
報告

①平成20年度京都府農林関係予算について

【農地法諮問案件の審議件数

(12~2月)】

第4条26件 12,371.19m<sup>2</sup>

第5条81件 144,313.63m<sup>2</sup>

計107件 156,684.82m<sup>2</sup>

## 出版案内

【農業会議の出版物】

『農業会議情報』

No.761

平成18年度「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」及び標準小作料改訂の結果

No.762

平成20年産の米需給と生産調整対策特集

『農政研究資料』

07-122号

集落型農業法人における多角化の現状と課題

『あぐり・るねさんず』

No.75 (2008年春号)

【おすすめ図書】

『地域で進めよう！学校給食等への地場農産物の活用』

●農業委員会から生産者と学校関係者に働きかける方法を解説。食育のネットワークづくりに役立つ1冊です。



コード19-39 700円

『はじめての人のための絵や図で見る農地制度』

●農地制度のイメージをわかりやすい図で解説。新任の農業委員や協力員の入門テキストに最適です。



コード19-29 500円

『とびだせ！農業 実践編』

●先進的な農業経営者の実践に役立ちます。農業には無限の可能性があるので！



コード19-34 1,000円

※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

## 今後のスケジュール (予定)

▼第317回常任会議 (3/19)

▼第97回総会 (3/19)

▼第318回常任会議 (4/23)

▼第319回常任会議 (5/28)

